



高生の丘

北九州市立高生中学校

学校通信 体育大会特集号 No.9

発行責任者 校長 寺田 訓康

TEL 881-3276

平成28年9月16日発行

■ 一丸となって体育大会を頑張ろう！

皆様のご来校をお待ちしています。

台風の接近のため5日（月）は、臨時休校という波乱のスタートになりましたが、翌6日（火）から、第30回体育大会に向けての練習が始まりました。

今年は、授業で学んだことを中心に、保護者や地域の皆様に見て頂きたいと思っています。見所をお知らせしますので参考にしてください。

1番の注目は、どの学年も入学時から取り組んだ集団演技です。テレビで見るような際立った演技はできませんが、3年生のリーダーを中心に、生徒が自分達の手で作上げた作品です。きびきびと規律正しい行動の中にも、高生中学の生徒らしく、明るく朗らかな面も見せてくれます。



リーダーを中心に頑張りました

また、3年生のダンスは男女混合で行います。こちらもダンス委員を中心に夏休みから自分たちで振り付けを考えました。素晴らしい動きを考え出し、それをすぐにマスターできたのは、若さにあふれる中学生ならではの感心させられました。

6月に行った体力テストでは、本校の生徒の体力は上昇傾向にありました。プログラム1番の準備体操から各学年の学年競技（全学年学級全員リレーと1年の川下り、2年のローハイド、3年のムカデリレー）100m走、変化走、色別対抗の旋風、そして色別対抗リレーまで、レベルの高い演技が期待できます。

そして、今年は、生徒総会で要望のあった部活動対抗リレーも行います。皆さんの頑張りに学校もできるだけ応えていきたいと思っています。3年間頑張ってきた部活動、その思いを込め仲間にバトンをつなぐ姿をご覧ください。

次は、玉入れです。これには、保護者や地域の皆様そして、高生中学校に来てくれるであろう、小学生の皆さんにも参加してもらいたいと思っています。地域全体で高生中学校の体育大会に参加していただくと、生徒も職員も大変うれしいです。

最後の閉会式では、太太鼓を伴奏に校歌をうたいます。誇りを持って歌いますので、ぜひ最後までご覧ください。

何度も書いたように、今年の体育大会の多くは、生徒たちが自分の手で作り上げました。十分に完成していない面もあるかもしれませんが、こんなに頑張った生徒を、私たち職員も誇りに感じ、一緒に体育大会ができることを幸せに感じています。ぜひこの気持ちを保護者や地域の方と一緒に持ちたいと思います。皆様方のご来校をお待ちしています。

■ こんな場所でも高生中学生は頑張りました。

日本ボーイスカウト福岡県連盟より、坂本留菜さんが最高進級章（菊スカウト）に選ばれ、小川県知事より顕彰していただいたとお手紙を頂きました。

また、小東山スタッフやおおじの会の方から今年の戸畑祇園山笠で大変頑張っていたので誉めてくださいとお言葉を頂きました。夏の暑い中、みんなよく頑張ってくれました。体育大会や文化発表会に戸畑祇園山笠の関係の方々もたくさん見えます。祇園だけでなく学校生活でも頑張っている面も見せてください。



県知事と一緒に坂本さん

■ いじめアンケートを実施します

今年も全市一斉にいじめアンケートを実施します。悲しいことに、最近でもいじめによると思われる中学生の自殺が起こっています。

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」と定義されています。自分でも気づかないうちに、誰かを傷つけているとしたら、そのことに早く気づくことが大切です。高生中の生徒は自分の失敗に気づいたら、それを正すことができます。もし悩んでいる人がいたら、ぜひこのアンケートを通して打ち明けてください。いじめを解決することは、いじめられた人だけでなく、いじめた人のためにもなるのです。そして、みんなで高生中学校に通うのが楽しいと感じる学校にしましょう。

※アンケートは23日に実施する予定ですが、変更するかもしれません。

9月の目標

**「熱く
燃え上がろう！」**

地域の皆様に高生中の真髄を見ていただき
ましょう！

※前回21日（水）が給食がないとお伝えしていましたが、23日（金）の間違いでした。申し訳ありませんでした。

※裏面も見てください。

■益城町の中学校から手紙が来ました。

知っている人もいると思いますが、夏休みの間、中庭で生徒会を中心に「ひまわり」を育てていました。この「ひまわり」は、地震で被害を受けた熊本の学校へ送り、少しでも元気を出してもらおうと植えたものです。8月の終わりに全市で集めて熊本の学校に送りました。

本校の「ひまわり」は、益城町の木山中学校に届けられました。その木山中学校から「ひまわり」のお礼の手紙が届きました。木山中学校は、1学期中校舎が使えず、近くの小学校の一部を借りていたそうです。「“当たり前が当たり前でできること”がどれだけありがたいことか学びました。」とあります。先生も含めて、当たり前前に学校に通って、当たり前前に授業を受けて、当たり前にご飯を食べ、当たり前にお風呂に入り、当たり前前に布団で眠ることを当たり前と思わず、もう一度考えて見なければいけないなと感じました。この手紙は、職員室前の掲示板に掲示しています。ぜひ一度見てください。

北九州市立高生中学校の皆様へ

この度は、木山中学校に御支援いただきありがとうございました。今、益城町は震災から時間が止まってしまったところや、普段の通学路にも危険な場所がまだまだ残っている状況です。

1学期の間、私たちは隣の小学校を間借りする形で学校生活を送ることになりました。“いつも通り”ではない生活が始まり、戸惑いもありました。しかし、今年度の生徒会スローガンを胸にみんなで励まし合い、支え合いながら頑張ることができました。2学期からは元の中学校での生活を送ることができています。

ここに至るまでにたくさんの御支援、励ましの言葉をいただきました。中学校に来て、皆様からの御支援があったことを聞くと、自然と「頑張らなくてはい」という気持ちになりました。また、生徒全員が皆様のおかげで笑顔になることができました。

この経験を通して“当たり前が当たり前でできること”がどれだけありがたいことか学びました。そして、私たちは“木山中がすき、益城町がすき”という思いが強くなりました。だからこそ、これまで以上に各活動に力をいれ、木山中学校から益城町を復興できるようにしていきたいと思っています。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れず、誰かのためにできることを考えることができる生徒を目指していきます。

最後に、皆様の今後のご多幸をお祈りして、お礼の言葉といたします。本当に御支援・応援ありがとうございました。

益城町立木山中学校 生徒代表
生徒会長 友村麻菜

はるかのひまわりも大きくなり、たくさん咲きました。

スローガンとメッセージを校舎に掲げ、気持ちを強くしていきます。



益城町立木山中学校の生徒会長からの手紙です。